

【 検査 】

733　B型慢性肝炎治療中のHBs抗体の算定について

《令和7年11月28日》

○ 取扱い

B型慢性肝炎に対する抗ウイルス薬による治療中のD013「3」HBs抗体の算定については、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

HBs抗体は、既往の感染歴やワクチン効果を判定するときに用いる検査である。治療を要するB型慢性肝炎では、HBs抗原陽性でHBs抗体陰性を示す。

B型肝炎治療ガイドライン（日本肝臓学会・肝炎診療ガイドライン作成委員会2022年6月）には、「抗ウイルス治療の長期目標はHBs抗原消失である」と記載され、HBs抗体についての記載はない。HBs抗体の陽性化はHBs抗原消失後におきるため、HBs抗原陽性が続いているかぎりHBs抗体測定の意味はなく、少数であるがHBs抗原消失に至った事例でのみ例外的にHBs抗体測定が意味を持つ。

以上のことから、B型慢性肝炎に対する抗ウイルス薬による治療中のD013「3」HBs抗体の算定については、原則として認められないと判断した。